

■ 部門別街づくり方針(多摩川住宅全域など)

① 交通

- ・ 循環バスシステムの導入(多摩川住宅→国領→北部地域など)
- ・ **パーク&ライドのシステム、ミニバスと幹線バス、バスと鉄道、車と鉄道、医療や福祉施設と連携したコミュニティバスなどの導入(高齢者等への配慮)**
- ・ 歩行者専用道路の整備、適度な運動と安らぎや景観を楽しむ散策道の整備
- ・ 日活撮影所から多摩川住宅までの多摩川沿い道路の全区間を整備
- ・ 多摩川から深大寺までの南北シンボルロードの整備、野川との連携
- ・ エリアマネージメントと連動したカーシェアリングシステム、自転車シェアリングシステムを構築(散歩道の整備)
- ・ **広域からの多摩川来訪者へのパーク&ライドシステムを構築**
- ・ 多摩川住宅イ、ロ号棟の整備



② 環境

- ・ 多摩川の親水環境の整備と自然エネルギーの活用(河川沿いの川の道、河川から陸地への風の道)
- ・ 多摩川や野川の水と住環境での池、せせらぎやビオトープなどの導入による環境教育、自然学習の環境を確保
- ・ 間伐材、落ち葉、下草、多摩川の流木などをバイオマスエネルギーとしての応用、普及の可能性検討
- ・ まとまった農地、永久農地などの利活用、家庭菜園、ミニ農園、クラインガルテン、共同農園など、都市型コミュニティ農園への実験的展開
- ・ **調布市、狛江市の貴重な資源である多摩川の有効活用、南地域の目玉として多摩川を活用した拠点核の形成(水辺の自然学習館)**
- ・ 広場など緑地の確保



③ 福 祉

- ・ **慈恵医大病院や国領地域と連携した医療ネットワーク、看護師ステーション、病院へのサービスを供給する機能システム(民間)との連携(介護商品の宅配、食事のケータリング、掃除サービスなど)**
- ・ デイサービス、子育て施設、一時預かりなどのサービス機能、施設の誘致
- ・ 東西南北の地域ごとに、**地域密着型の福祉総合サービス施設を整備し中央センターとの連携ネットワークを構築**
- ・ 多世代対応型のウェルネスセンター（健康維持のため、未病のための施設）を4地域ごとに計画。特に、南部地域は多摩川の河川環境を活用したフィジカル・トレーニングの実践、自然の水と緑を活かした癒し、安らぎを供給するメンタル・トレーニングも実践する地域
- ・ 多摩川の河川景観を活用したスパ機能、温浴機能、水や水音をテーマとしたウェルネス施設、実験施設、社会実験施設の実践
- ・ **「学童クラブ」の導入**
- ・ 多目的ホール



④ 防 災

- ・ **多摩川河川敷および隣接する広場を活用した広域避難場所、河川を活用した避難場所の緊急災害インフラ、ヘリコプターの離発着場、緊急医療(慈恵医大病院)対応の拠点化**
- ・ 安心、防犯等の地域セキュリティが確保された南部地域としてのエリアマネージメントネットのワークを構築（警察、消防、民間の警備会社等との連携）
- ・ 地震災害が発生した時に、救援可能なインフラ整備、特に河川交通を緊急時に活用できるシステムを構築
- ・ 多摩川の水害対策として、スーパー堤防などの護岸整備とあわせた街づくり、住環境づくりへの展開
- ・ **南部地域の広域防災避難拠点となる防災広場の設置**
- ・ ヘリコプター乗り場および体育館の整備
- ・ 防犯体制の確保

⑤ 住 環 境

- ・ 親水環境を活かした 21 世紀の集合住宅のプロトタイプを創出
- ・ 河川の自然エネルギー（河川水の通年温度は一定）とその上空に発生する風の流れを効果的に住環境、地域環境へ活用
- ・ **多様な世代構成による新しいコミュニティ、南部地域での広域コミュニティに対応できる施設やオープンスペースを確保**
- ・ **地域活動、NPO 活動、ボランティア活動などが醸成されるような住環境**、ソフトなエリアマネージメントが展開できる住環境づくり、施設づくり
- ・ 日常生活と社会福祉の一元化



⑥ 景 観

- ・ 南部地域の環境特性を活かした景観づくり、多摩川の景観と一体化した新たな景観の創造
- ・ 画一的な景観から、地域の個性を発揮した創造的な景観づくり、景観ガイドラインの策定、景観地区計画づくり
- ・ 東京都の景観軸から発展した新たな景観軸の創造（多摩川を生かす）
- ・ **京王線の地下化後の地上空間活用を、景観手法を活用して良好な社会ストック、環境ストックとして将来へ継承**

⑦ 地域活性化

- ・ 多摩川でのイベント活動、お祭り、花火大会、ミニマラソンなど、年中行事に向けた企画立案
- ・ 映画産業等の立地特性、歴史背景をふまえ、映像文化の拠点施設、映像文化の教育拠点、デザインベンチャーの支援機関などの機能立地の誘導、自然環境を活かしたフィルムコミッションの街を展開
- ・ 地元の大学、研究期間と連携した新たなライフスタイルの創造、社会実験による時代先導型の街づくりの展開（ロボット産業の応用フィールドとしての社会実験）
- ・ **次世代との連携**
- ・ **地域活動の活性化**

